



サービス連合新聞

〒160-0002
東京都新宿区四谷坂町9-6
坂町Mビル2F
03-5919-3261
発行人 千葉 崇

第17回定期大会開催される



サービス・ツーリズム産業労働組合連合会 第17回定期大会

挨拶する後藤会長

サービス連合は7月13日(木)にリーガロイヤルホテル東京において「第17回定期大会」を開催しました。役員・代議員・傍聴者など190名が出席のもと、「2017春季生活闘争のまとめ」、「2015〜2016年度運動のまとめ」、「2017〜2020年度中期目標」、「2017〜2018年度運動方針」、「時短方針改訂」、「最低保障賃金の考え方」、「2017秋闘方針・2018春季生活闘争方針策定にむけて」、「2017〜2018年度執行体制修正」、「2016年度活動・決算報告」および「剰余金処分」、「2017年度予算」の各議案が執行部から提案され、すべての議案が原案通り可決されました。

すべての議案を原案通り可決

2017 2018 年度運動方針決定



左：番場代議員 右：増村代議員

これからの4年間のサービス連合における活動の軸となる4つの「運動の柱」とともに2017〜2018年度運動方針が確認され、2017年度のスタートを切りました。(2面に中期目標、活動方針要旨掲載)

2016年度運動のまとめ、「2017〜2020年度中期目標」、「2017〜2018年度運動方針」、「時短方針改訂」、「最低保障賃金の考え方」、「2017秋闘方針・2018春季生活闘争方針策定にむけて」、「2017〜2018年度執行体制修正」、「2016年度活動・決算報告」および「剰余金処分」、「2017年度予算」の各議案が執行部から提案され、すべての議案が原案通り可決されました。

定期大会は杉崎副会長の挨拶で開会し、番場代議員(左)と増村代議員(右)が挨拶した。後藤会長は「2017〜2020年度中期目標、活動方針要旨掲載」について、労働運動への協力に對しての御礼とともに連帯のご挨拶をいただきました。その中で賃金をはじめとした労働条件の維持向上について労使で実現していくこと、組織労働者が世に見本を示していくこと、社会の一員

来賓としてお迎えした連合の神津会長からは日頃の労働運動への協力に對しての御礼とともに連帯のご挨拶をいただきました。その中で賃金をはじめとした労働条件の維持向上について労使で実現していくこと、組織労働者が世に見本を示していくこと、社会の一員



来賓挨拶を行う神津連合会長

として政治に向き合う意識を持つことの重要性などについて訴えました。また、今大会は改選期にあたるため本部役員選挙が行われ、後藤会長をはじめとする38名の役員が選出されました。なお、今大会をもって、長きにわたりご活躍いただいた杉崎副会長をはじめ11名が本部役員を退任され、感謝の意を込めて退任表彰を行いました。(5〜6面に関連記事掲載)



朝日旅行労働組合
宮嶋執行委員長

朝日旅行労働組合が新規加盟組合を代表し、JTグループ労連の朝日旅行労組の宮嶋委員長より挨拶があり、会場からは歓迎の意を込め、盛大な拍手が巻き起こりました。

新たな仲間を歓迎

2017～2020年度 中期目標を確認

第13回定期大会において、サービス連合では「運動の基本目標」の実現のため4年間の中期目標として3つの柱を設定し、運動を進めてきました。これまで、

活動は着実に前進し、課題解決をはかってきていますが、成果が十分に表れていない課題も存在します。それを受けて、これまでの運動の積み重ねを基盤に

結成20周年にむけたこれらの4年間で新たに4つの柱を設定し、具体的成果を積み上げていくことを目指すことが満場一致で確認されました。

運動の柱

◎強固な組織基盤の確立

すべての加盟組合での主体的な組織運営を実現し、10万人組織を目指し組織拡大に取り組みます。

◎労働環境の整備と向上

一人ひとりが働きがいと生きがいを持ち、安心して働き続けることができる産業を実現します。

◎産業政策の提言と実現

私たちは日々の調査・研究活動などをつうじ積極的な観光政策提言を行い、その実現をつうじ産業活動の社会的公正さと観光立国にふさわしい産業の健全な発展を促します。

◎社会への関与と共生と連帯

私たちの運動が社会の公器として期待される役割を担い、常に社会との共生と連帯を求め続けます。

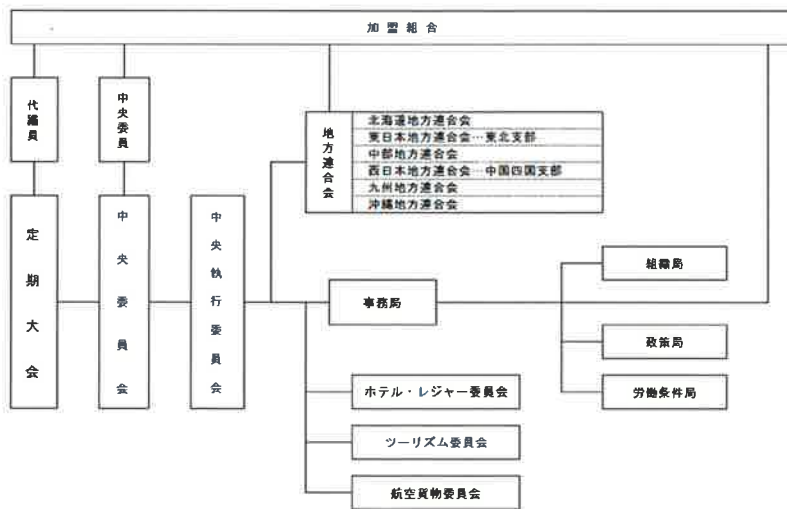
新体制がスタート

この定期大会では新たな執行体制が確認され、役員や本部体制が強化されることとなりました。

新たに「会長代理」を2名新設したほか、本部には専門分野の取り組みをより一層遂行するため、「組織局」「政策局」の2局体制に「労働条件局」が追加されました。また、業種別委員会においてはこれまでのホテル・レジャー委員会、観光・航空貨物委員会からホテル・レジャー委員会、ツーリズム委員会、航空貨物委員会の3委員会が設置されることとなり、これまでの歩みをさらに進め、政策議論を推進していくこととしました。(組織図参照)



サービス・ツーリズム産業労働組合連合会 組織図 (サービス連合)



政策提言への取り組み強化へ

【強固な組織基盤の確立】

加盟組合とのコミュニケーション強化をはかり、取り組み課題を明確にし、優先課題から解決できるよう活動支援に取り組みます。

人財育成プログラムの整備を適宜行い、資料提供や研修の実施などに取り組みます。

組織問題については、加盟組合との連携を深めるとともに、組織強化に取り組みます。

組織拡大についてはこの4年間で「組織人員50,000人」の達成を見据え、2017〜2018年度においては「組織人員46,000人」の達成にむけ、3,000名の組織拡大に取り組みます。

【労働環境の整備と向上】

春季生活闘争・秋闘についてはサービス・ツーリズム産業で働くすべての労働者の労働条件改善を基軸とした闘争を行います。

私たちの産業で働くことがより魅力的なものになるように、中期的な賃金目標「35歳年収 550万円」の実現にむけて取り組みます。

総実労働時間1800時間にむけて時短方針および「第4期時短アクションプラン」に沿って取り組み、毎年15時間ずつの短縮を目標とします。

労働法制や社会保障制度に関して、加盟組合への情報発信に取り組みむとともに、連合や関係省庁と連携し意見反映に努めます。

男女平等参画の推進について「サービス連合・男女平等参画推進計画」

2017～2018年度 運動方針要旨

に沿って取り組むこととします。また、男女平等にかかわる政策制度要求の立案にむけた議論を行うじ、意見反映にととめます。

【産業政策の提言と実現】

産業横断的なテーマの取りまとめや観光政策提言全般につながる議論を行うこととします。国連世界観光機関(UNWTO)については連携を強化するとともに、理念について加盟組合に対する理解浸透をはかり

ます。「観光立国実現に向けた提言」を基に重点政策を掲げ、その趣旨や取り組み内容について各地連や加盟組合に対し理解浸透をはかります。また、政党に対しても考え方を伝えることとします。

【社会への関与と共生と連帯】

サービス連合の活動や取り組みなど、組織内外に広く周知できるように、更なる情報発信力の強化をはかります。また、社会的影響力の大きい事象やサービス・ツーリズム産業におけるトピックスに対し、サービス連合としての考え方を「見解」「談話」として社会にむけ発信します。

社会との共生や連帯を行うじ公正かつ環境にやさしい社会の実現を目指す「明日づくりプロジェクト推進委員会」において推進計画を検討していきます。

ITFおよびIUFの運動を行うじ、全世界の観光産業労働者の地位向上にむけ取り組みを推進していくこととします。労働組合の自主福祉運動の推進にむけて、相互扶助の精神に基づき積極的に取り組んでいきます。

サービス連合では、一人年間1000円の組織共済掛け金を納入して頂き、以下の場合に弔慰金・被災見舞金を支給する組織共済を実施しています。以下の事由が発生しましたら所属する労働組合を経由してサービス連合に申請して下さい。

詳細は、サービス連合ホームページをご覧ください。

サービス連合組織共済

死亡弔慰金

- 組合員・・・・・・・・・・15万円
- 組合員の配偶者・・・・・・8万円
- 組合員が扶養する子供・・・・3万円
- 災害見舞金・持家(自然災害除く)
- 全焼・全損壊・・・・50万円
- 半焼・半損壊・・・・25万円
- 相当な被害・・・・3万円

※借家の場合も支給があります

ZENROSAI 全労済

全労済は、たすけあう心から生まれた保障の生協です。



全労済の住まいる共済	火災共済	自然災害共済
こくみん共済	総合医療共済	
せいいめい共済	マイカー共済	
自賠償共済	団体生命共済	
交通災害共済	新セット移行共済	

全労済は、営利を目的としない保障の生協として共済事業を営み、組合員の皆さまの安心とゆとりある暮らしをめざしています。出資金をお支払いいただいで組合員になれば、各種共済をご利用いただけます。

保障のことなら **全労済**

全労済労働者生活協同組合連合会

ローンやサービスがたくさんあって、はたらく人のために考えられている。身近で支えてくれる金融機関ってけっこう、いいよね。

だから、私も、ろうきん。

けっこう使える。ろうきん

あなたとわかちあう次の一歩



2017連合 平和行動in沖縄

「語り継ぐ戦争の実相と運動の継続で恒久平和の実現を」

連合は、6月23日(金)～24日(土)において「2017連合 平和行動in沖縄」を開催し、サービス連合より橋本副事務局長がP.A.T(ピース・アクション・チーム)として参加しました。P.A.Tは連合の各構成組織から登録され、平和行動の事務局運営に関わるとともに、P.A.Tをつうじた経験を自組織の活動に活かす役割を担っています。

平和行動報告

1日目は「平和オキナワ集会」を浦添市で、このホールで開催し、全国の構成組織と地方連合会から1,100名が参加しました。第



2日目はピースフィールドワークで南部戦跡や米軍基地等を視察学習し、県庁前県民広場で「在日米軍基地の整理・縮小」と「日米地位協定の抜本的見直し」を求める集会を開催しました。ピースフィールドワークでは、450名の参加者がコースに分かれ、辺野古キャンプシュワブ、嘉数高台(普天間基地)、糸数アブチラガマ等を視察しまし

た。糸数アブチラガマは、本島南部南城市にある自然洞窟(ガマ)で、戦時中日本軍の陸地壕や倉庫として使用され、戦場が南下するにつれて南風原陸軍病院の分室となりました。ガマはほとんど当時のまま保存されており、ガイドの説明も相まって当時の凄惨な様子がひしひしと伝わってくるものでした。



平和行動にP.A.Tとして参加し、戦争の悲惨さと平和の尊さについて改めて認識を深めることができました。平和産業に働く立場として、引き続き世界の恒久平和につながる活動を推進してまいります。(報告…サービス連合本部 橋本拓真副事務局長)

アネモネ通信



サービス連合は、公正かつ環境にやさしい社会の実現を目指し社会貢献活動(エコライフ活動・ボランティア支援等)に取り組んでいます。活動キャラクターであるアネちゃんとモネちゃんとともに、アネモネ通信として組合員の皆さんに取り組みを知ってもらうため情報を提供しています。

申請書集中
金太郎支援制度

団体生命共済
仲間同士のたすけあいで
もっと、もっと大きな安心を。

体的に参加しているボランティア団体に対して経済的な支援を行います。

- 【支援内容】
 - 1 団体年間10万円以内
 - 【支援期間】原則3年間
 - 【必要書類】
 - 活動内容と財政内容がわかるもの・機関誌・規約などで、申請フォームは特ありません。
 - 【応募方法】
 - 所属の加盟組合をつうじ各地連に申請。随時募集しています。組合員の方々からの積極的な応募をお待ちしております。詳細はホームページをご覧ください。

- 機関会議**
- 10月3日 第2回中央執行委員会
 - 9月7日 東日本地連大会
 - 9月4日 北海道地連大会
 - 8月24日 西日本地連大会
 - 8月22日 中部地連大会
 - 8月23日 地連大会スケジュール
 - 9月12日 沖縄地連大会
 - 9月12日 九州地連大会

会員の権利

組合員の相談費用は無料訴訟等の弁護費用は別

【東京】

毎月第2水曜日
18時30分から2時間
サービス連合本部で実施

※事前連絡要

サービス連合本部
03-5919-1326
1

【大阪】

電話受付のみ
平日 10時から18時
サービス連合西日本地連
06-6459-3110

2017~2018年度 サービス連合新執行部



岡崎副会長
(日本旅行労組)



森岡副会長
(リーガ労連)



長縄会長代理
(JTBグループ労連)



岡本会長代理
(帝国ホテル労組)



後藤会長
(帝国ホテル労組)



千葉事務局長
(JTBグループ労連)



山口副会長
(KNTグループ労連)



佐野副会長
(藤田観光労組)



津和崎副会長
(阪急阪神交通社グループ労連)



廣末副会長
(都ホテルズ&リゾート労連)



奥田中央執行委員
(KNTグループ労連)



矢野中央執行委員
(都ホテルズ&リゾート労連)



櫻田副事務局長
(帝国ホテル労組)



石川副事務局長
(JTBグループ労連)



橋本副事務局長
(阪急阪神交通社グループ労連)



舩甘中央執行委員
(IHG・ANAホテルズ労連)



袴田中央執行委員
(ヒルトン連合会)



直田中央執行委員
(中の坊従組)



榎田中央執行委員
(近鉄エクスプレス労組)



平松中央執行委員
(日本旅行労組)



中山中央執行委員
(名古屋観光ホテル労組)



岡野中央執行委員
(ホテルニューグランド労組)



中谷中央執行委員
(函館国際ホテル労組)



永江中央執行委員
(JTBグループ労連)



高玉中央執行委員
(京王観光労組)

(6面につづく)



大木特別中央執行委員
(KNTグループ労連)



神田特別中央執行委員
(JTBグループ労連)



鉢嶺中央執行委員
(都ホテルズ&リゾート労連)



有馬中央執行委員
(JTBグループ労連)



北川中央執行委員
(阪急阪神ホテルズ労組)



松本特別中央執行委員



傳田特別中央執行委員



藤井特別中央執行委員



山本特別中央執行委員



森特別中央執行委員
(KNTグループ労連)

サービス連合第17回定期大会にて本部役員選挙が行われ、再選の後藤会長(帝国ホテル労組)をはじめ、38名の役員が選出されました。
新体制となり、サービス連合の2017年度がスタートします。
これからもよろしくお願ひします。



寺門会計監査
(東武トップツアーズ労組)



二宮会計監査
(リーガ労連)



森谷会計監査
(藤田観光労組)



渡辺前中央執行委員
(日本旅行労組)



吉松前中央執行委員
(リーガ労連)



田中前副会長
(藤田観光労組)



杉崎前副会長
(都ホテルズ&リゾート労連)



翁長前中央執行委員
(IHG・ANAホテルズ労連)



有永前中央執行委員
(日本旅行労組)



岡田前中央執行委員
(IHG・ANAホテルズ労連)



小槌前中央執行委員
(帝国ホテル労組)

長きにわたり、ありがとうございました。
新天地での活躍を期待しています。



海瀬前会計監査
(東武トップツアーズ労組)



山尾前特別中央執行委員



村田前特別中央執行委員
(JTBグループ労連)

退任された役員

退任された役員の皆様お疲れ様でした。